

産廃いわて

2017-8 平成29年12月11日発行

かわらばん

一般社団法人 岩手県産業廃棄物協会

TEL019-625-2201 FAX019-624-1920

URL : <http://www.iwatesanpai.or.jp>



新春講演会

恒例の新春講演会（無料）を開催します。今回は、国内外で廃棄物処理やリサイクルの指導に活躍している村田弘氏を講師にお迎えします。タイ王国における産業廃棄物処理の状況などの豊富な経験と多角的な視点からスケールの大きいお話を伺う貴重な機会です。第2部の懇親会は有料ですが、こちらも奮ってご参加ください。多数の申込をお待ちしています。

【開催日時等】 詳細は別紙

日時：平成30年1月26日（金）15:30～17:00

場所：ホテルメトロポリタン盛岡本館 4F岩手の間

演題：「産業廃棄物処理制度の移り変わり

新しい時代に向かって

～荒波を乗り切るための視点」

講師：（公財）日本産業廃棄物処理振興センター

専任講師 村田 弘 氏



排出事業者等説明会終了

9月～12月に県内10会場で開催された産業廃棄物排出事業者等説明会が終了しました。今年度は製造業、運輸通信業、自動車整備、卸・小売業、医療、産廃処理業、多量排出者が対象で、約2,000名の方が受講しました。



産廃と環境を考える全国大会

第16回産業廃棄物と環境を考える全国大会が11月17日（金）に高知市で開催されました。環境大臣表彰の授与式に続いて、基調講演「産業廃棄物処理業の振興方策について」（慶応義塾大学 細田衛士教授）がありました。また、今回は労働安全衛生セッションが設けられ、講演と事例発表が行われました。



水銀関係の法令改正

10月号でお知らせしたところですが、10月1日以前から水銀産廃を取り扱っていて、許可証に取扱品目として明示したい方は手数料なしで書換えできます（窓口は通常の手続きと同様）。法令改正に伴って、排出事業者から許可品目の確認を求められた事例もありますので、この制度の利用をお勧めします。

また、法令改正に対応する連合会マニフェストの新様式について、頒布の開始を「11月末～12月頃」とお知らせしていましたが、連合会の準備が遅れており、直行用単票は12月下旬以降、直行用連帳は1月以降になる見込みです。



青年部会三県合同視察交流会

青年部会の青森・秋田・岩手三県合同視察が11月10日（金）岩手県を会場に開催されました。盛岡市の(有)藤工と(株)環境整備を訪問し、施設や操業について懇切な説明をいただきました。岩手県40名、計61名という多数の参加で、交流会の意見交換等も盛り上がり、とても有意義なプログラムでした。



事務局便り

【お知らせ】12月29日（金）から1月3日（水）まで年末年始の休業とさせていただきます。

なお、今年のマニフェストのご注文は12月26日（火）までをお願いします。

【12月行事予定】

- 12日 排出事業者向け実務研修会（盛岡市）
- 13日 許可事務説明会（盛岡市）
事前協議技術研修会（盛岡市）
- 20日 建設・解体関係適正処理研修会（盛岡市）

【1月行事予定】

- 12日 全産廃連賀詞交歓会（東京都）
- 17日 電子マニフェスト導入実務研修会（盛岡市）
- 24日 事前協議技術研修会（奥州市）
- 26日 新春講演会・懇話会（盛岡市）

編集後記

今年も残すところあとわずかとなりました。
会員の皆様には、ご協力賜りましてありがとうございました。来年もよろしくお祈りします。良いお年をお迎えください。

今月の一口メモ 平成9年12月に京都で開催された気候変動枠組条約締約国会議を契機として、毎年12月は「地球温暖化防止月間」と定められ、様々な取組みが行われています。

2017年法改正の詳細を定める施行令案のパブリックコメント（意見募集）が行われています（11月14日～1月5日）。電子マニフェストの義務化対象（前々年度の特別管理産業廃棄物を50トン以上排出する事業者）などが示されており、協会としても研修事業の充実を図ってまいります。

危ないと気づいたアナタが責任者
みんなで作ろう 安全職場

福島協会の標語募集の最優秀賞
（環境省震災復興事業）